

配慮を必要とする人の代表的なマーク

① 建物・施設・設備などで見かけるマーク

障がい者の国際シンボルマーク



車いす利用者だけでなく、障がいのある人すべてが利用しやすい建物や公共交通機関であることを示す、世界共通のマーク。

視覚障がい者の国際シンボルマーク



視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物・設備・機器などにつけられている、世界共通のマーク。

ほじょ犬マーク



身体障害者補助犬法に基づき認定された補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の同伴に対して、理解・協力を求めるマーク。

耳マーク



聴覚に障がいがあることを示し、コミュニケーション方法（筆談など）に配慮を求める場合などに使用するマーク。

オストメイトマーク



オストメイト（人工肛門・人口膀胱を造設した人）が利用するための設備があることを表すマーク。

ハートプラスマーク



心臓疾患などの内部障がいや内臓疾患のある人を示すマーク。

② 個人が身につけるマーク

ヘルプマーク



義足・人工関節、内部障がい・難病、妊娠初期など、外見からは分からないが、周囲の人に配慮を求めていることを示すマーク。

ヘルプカード



困ったときに、周囲の人に自分の障がいへの理解や支援を求めるためのカード。緊急連絡先や必要な支援内容などが記載できます。

マタニティマーク



周囲の人が配慮しやすくなるように、妊産婦であることを示すマーク。

介護マーク（大田区）



認知症の方などの介護者は、他の人から見ると介護をしていることが分かりにくく、誤解や偏見を持たれることがあります。介護者が介護中であることを周囲に理解してもらうためのマークです。